



次月砲術長海軍中尉小滝久雄海防速録取書

一、 衝突時私ハ四番砲附近ニ立テ後部ヲ指揮
シテキマシタ

一、 本艦ガ水艀トノ衝突ヲ免レ且トニ平行ニナリ五
〇乃至六〇米ノ距離ニアリマシタカラ前進半

速ヲカケタトキハ充分ニ交ルモノト思ヒ別ニ
危険ヲ感シマセヌテシタ 其ノトキハ水艀ガ自分

ノ所カラ前方四方位ニ見エマシタ

一、 其ノ中ニ水艀ト本艦ト予想外ニ近接シテ

来マシテ危険ヲ感シマシタが又ヲ艦長ニ

助言スル^暇アリマセヌテシタ

一、 水艀ト本艦トノ衝突ノ危険ヲ感シ七、八本

一字訂正

海 軍

一、竿ヲ用意シ防舷物モ用意シマシタ

一、衝突ノ間際七八本ノ竿ヲ以テ僅カニ前方ニ

角度ヲ以テ突張リマシタガ竿ハ三本折レ

テ防舷物ニ使用スル銀ハアリマヌテシタ

一、水艇ト本艇トハ衝突前ヨリ平行ニナリテ右

リマシタカ 衝突モ殆ト平行デアリマシ

タ

一、サイレンハ長一聲ヲト聞クマシタカ速カ標

ニ確カト記憶シマシタ

一、衝突ノ際本艇ノ推進器ノ当ツタ事ハ其ノ

激動ヲ知リマシタ

一、水艇カ予想外ニ本艇ニ近接シタト思ヒ

タ原因ハ或ハ本艇モ水艇ノ方ニ近クテ殆

右ノカモ知レマセヌカ其ノ辺ハ突張リ方ニ先
ヲ取ラレテ確ト判断出来マセヌ
右録取ス

昭和二年九月三十日

於軍艦日進

駆逐艦水艦覆没事件査問会

委員長海軍大佐 高橋雄三郎



海軍

澤見核团长海軍核团长尉三品武夫陳述錄取書
一、核械の命令通り能く勤まらば
此、時核同日誌と航海日誌と比較して調査レ
タリ

右録取ス

昭和二年九月三十日

於軍艦日達

駆逐艦汎水船中後没事件査同会

委員長 海軍大佐 高橋 雄三郎



横廠機密三第三八三號

海軍

昭和三年拾月拾五日

横廠員海軍二教総務部長

駆逐艦澤風水雷触衝事件査同會委員長交

駆逐艦澤風水雷触衝三儿損傷程度三吳スル付

首題三吳二十月一日付日選擇五二部中依頼ノ取

了査調査ノ結果別紙ノ通

右回答ス

(外武通) 圖面三葉字真一葉器

(終)

海軍

驅逐艦澤風水艀觸衝ニヨル損傷調査書

一 損傷程度

(1) 驅逐艦澤風

右舷推進器翼ニ枚尖端屈曲部入渠ノ上修理ヲ要ス

(別圖(A)参照)

(2) 公稱茅ニ四七部水艀

船底破損部修理ヲ要ス(別圖(B)及写真参照)

電動唧筒破損部修理ヲ要ス

一 復旧ニ事豫算

1775

風 澤

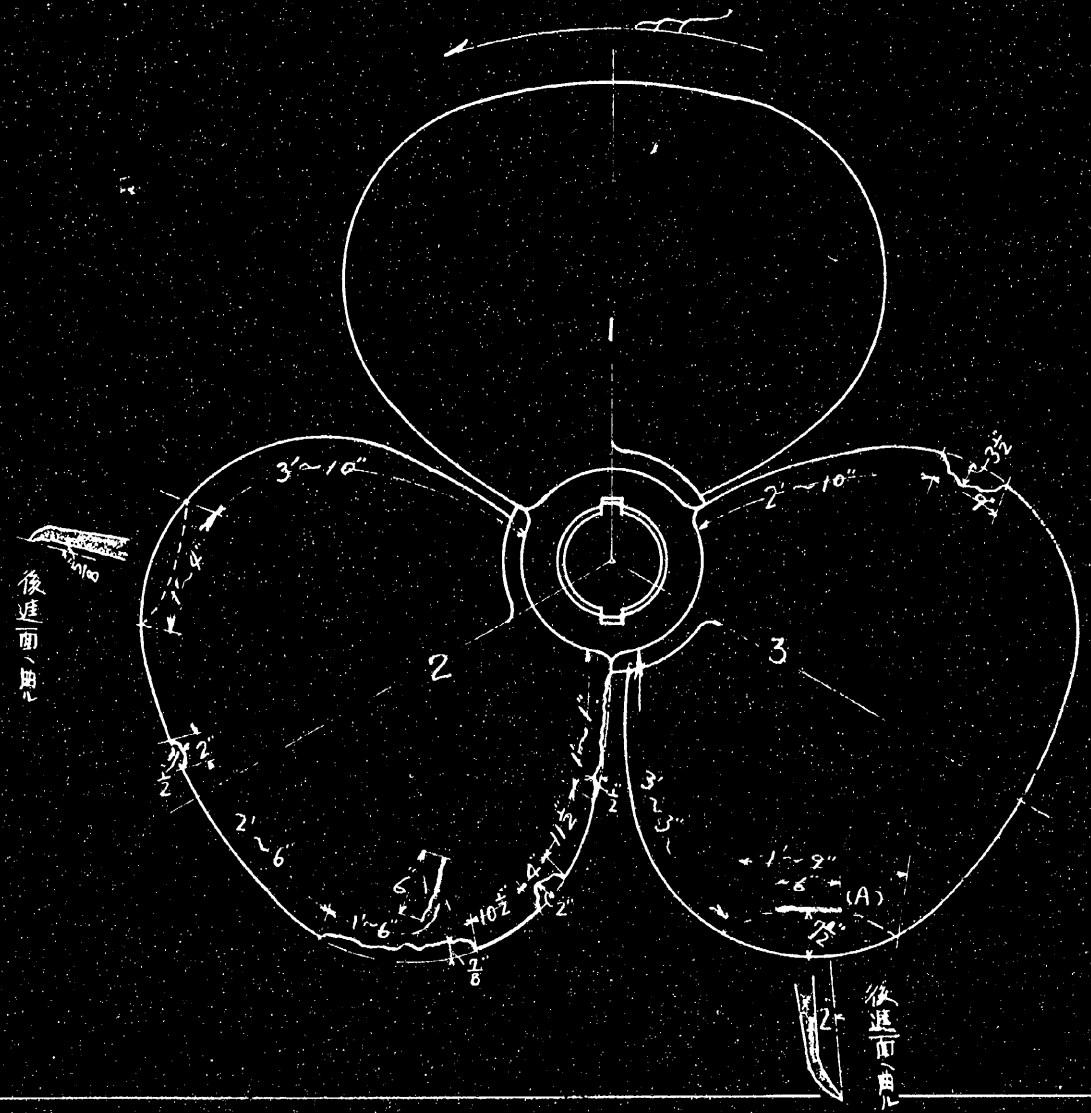
右舷推進器

折損部見取図

(昭和二年十月十六日 構造工場 於了)

備考

船ヨリ航ニ向ツテ見ル
 上莫線リ部ハ曲損セシメ分ナク
 朱書ハ龜裂後部ニシテ (A) 龜裂後ハ其ノ深サニ筋進面迄達ス



主任



掛官

掛員

調製

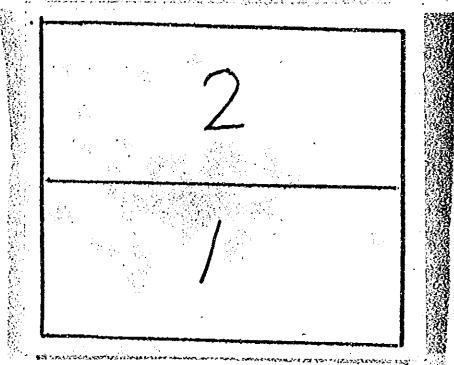

昭和二年十月七日

公卿帯三四七号永船底破損状況

破孔

1776

分割撮影ターゲット

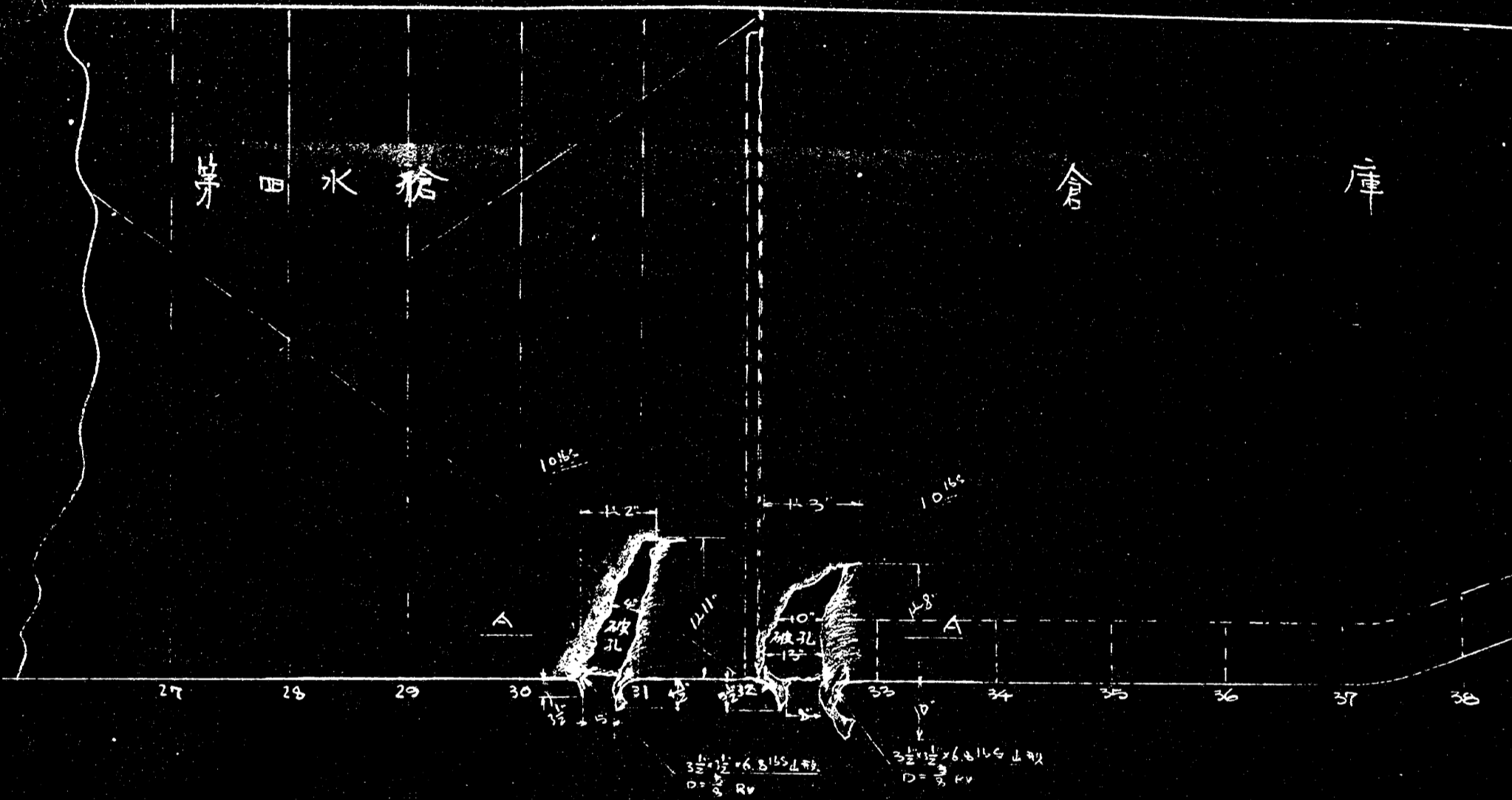
分割した 部分の撮 影 順 序	
分割撮影 した 理 由	A 3 判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>12 年 6 月 5 日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 三 浦 悟</p> 	

箱

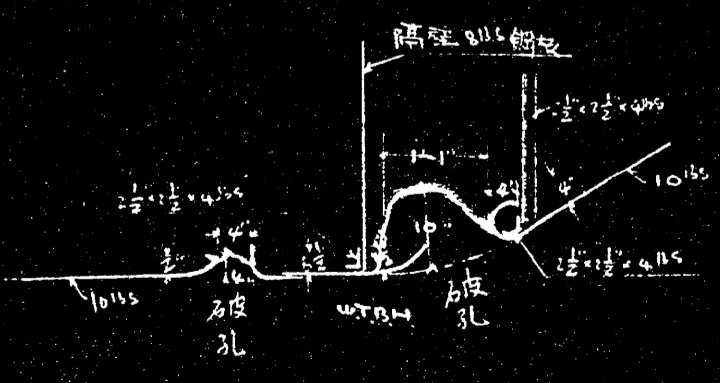
船外側面

茅 田 水 船

倉 庫



A.A. 切断




111

肋骨番号	至1/2鉄	至5/8鉄	至3/4鉄	場 所
14~22	390 ^円	364 ^円	0 ^円	前部糧食庫下部「L」右外板
40~48	186	203	0	二番、五番重油庫「J」右外板
51~64	286	680	245	第一缶室下部「J」右外板
64~75	640	956	396	} 第二缶室下部「J」右外板
78~88	338	466	265	
88~101	338	425	288	第三缶室 合上
101~125	400	445	532	機械室 「J」右外板
125~128	0	0	204	合上 外板
合計	2,578 ^円	3,539 ^円	1,930 ^円	

鉄ヲ
打換
(丸毛)

1779

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	<table border="1" data-bbox="438 414 1013 728"><tr><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td></tr><tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr></table>	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12								
1	2	3	4	5	6								
分割撮影 した 理 由	A 3 判以上のため												
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>12 年 6 月 5 日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 三 浦 悟</p> <p style="text-align: right;"></p>													

駆逐艦 山峯丸

損傷部目取番 (肋骨及縦通材)

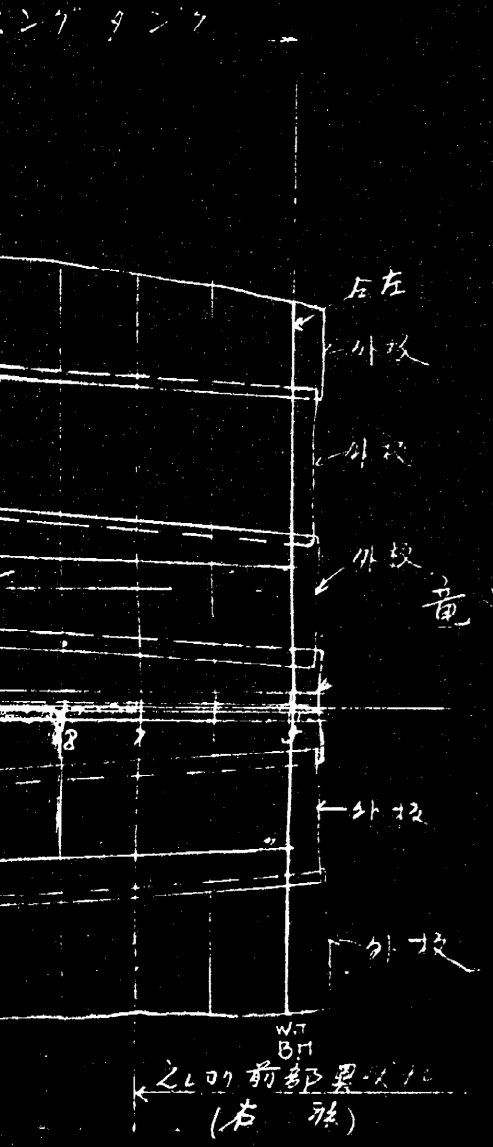
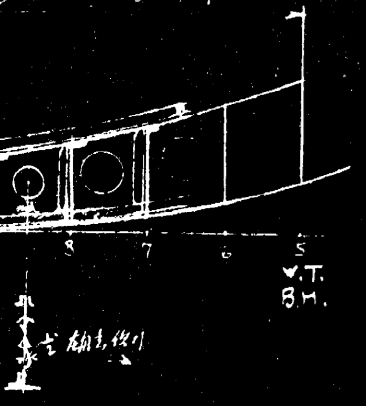
(昭和二年二月六日北海道奥尻島津津海岸にて沈没)
昭和二年三月十五日本艦入渠中見取上調製(モ)

艦内部損傷程度概要

- 一 縦通骨ノ部
- 二 第一肋骨ノ部
- 三 第二肋骨ノ部
- 四 第三肋骨ノ部
- 五 第四肋骨ノ部
- 六 第五肋骨ノ部
- 七 第六肋骨ノ部
- 八 第七肋骨ノ部
- 九 第八肋骨ノ部
- 十 第九肋骨ノ部
- 十一 第十肋骨ノ部
- 十二 第十一肋骨ノ部
- 十三 第十二肋骨ノ部
- 十四 第十三肋骨ノ部
- 十五 第十四肋骨ノ部
- 十六 第十五肋骨ノ部
- 十七 第十六肋骨ノ部
- 十八 第十七肋骨ノ部
- 十九 第十八肋骨ノ部
- 二十 第十九肋骨ノ部
- 二十一 第二十肋骨ノ部
- 二十二 第二十一肋骨ノ部
- 二十三 第二十二肋骨ノ部
- 二十四 第二十三肋骨ノ部
- 二十五 第二十四肋骨ノ部
- 二十六 第二十五肋骨ノ部
- 二十七 第二十六肋骨ノ部
- 二十八 第二十七肋骨ノ部
- 二十九 第二十八肋骨ノ部
- 三十 第二十九肋骨ノ部
- 三十一 第三十肋骨ノ部
- 三十二 第三十一肋骨ノ部
- 三十三 第三十二肋骨ノ部
- 三十四 第三十三肋骨ノ部
- 三十五 第三十四肋骨ノ部
- 三十六 第三十五肋骨ノ部
- 三十七 第三十六肋骨ノ部
- 三十八 第三十七肋骨ノ部
- 三十九 第三十八肋骨ノ部
- 四十 第三十九肋骨ノ部
- 四十一 第四十肋骨ノ部
- 四十二 第四十一肋骨ノ部
- 四十三 第四十二肋骨ノ部
- 四十四 第四十三肋骨ノ部
- 四十五 第四十四肋骨ノ部
- 四十六 第四十五肋骨ノ部
- 四十七 第四十六肋骨ノ部
- 四十八 第四十七肋骨ノ部
- 四十九 第四十八肋骨ノ部
- 五十 第四十九肋骨ノ部
- 五十一 第五十肋骨ノ部
- 五十二 第五十一肋骨ノ部
- 五十三 第五十二肋骨ノ部
- 五十四 第五十三肋骨ノ部
- 五十五 第五十四肋骨ノ部
- 五十六 第五十五肋骨ノ部
- 五十七 第五十六肋骨ノ部
- 五十八 第五十七肋骨ノ部
- 五十九 第五十八肋骨ノ部
- 六十 第五十九肋骨ノ部
- 六十一 第六十肋骨ノ部
- 六十二 第六十一肋骨ノ部
- 六十三 第六十二肋骨ノ部
- 六十四 第六十三肋骨ノ部
- 六十五 第六十四肋骨ノ部
- 六十六 第六十五肋骨ノ部
- 六十七 第六十六肋骨ノ部
- 六十八 第六十七肋骨ノ部
- 六十九 第六十八肋骨ノ部
- 七十 第六十九肋骨ノ部
- 七十一 第七十肋骨ノ部
- 七十二 第七十一肋骨ノ部
- 七十三 第七十二肋骨ノ部
- 七十四 第七十三肋骨ノ部
- 七十五 第七十四肋骨ノ部
- 七十六 第七十五肋骨ノ部
- 七十七 第七十六肋骨ノ部
- 七十八 第七十七肋骨ノ部
- 七十九 第七十八肋骨ノ部
- 八十 第七十九肋骨ノ部
- 八十一 第八十肋骨ノ部
- 八十二 第八十一肋骨ノ部
- 八十三 第八十二肋骨ノ部
- 八十四 第八十三肋骨ノ部
- 八十五 第八十四肋骨ノ部
- 八十六 第八十五肋骨ノ部
- 八十七 第八十六肋骨ノ部
- 八十八 第八十七肋骨ノ部
- 八十九 第八十八肋骨ノ部
- 九十 第八十九肋骨ノ部
- 九十一 第九十肋骨ノ部
- 九十二 第九十一肋骨ノ部
- 九十三 第九十二肋骨ノ部
- 九十四 第九十三肋骨ノ部
- 九十五 第九十四肋骨ノ部
- 九十六 第九十五肋骨ノ部
- 九十七 第九十六肋骨ノ部
- 九十八 第九十七肋骨ノ部
- 九十九 第九十八肋骨ノ部
- 一百 第九十九肋骨ノ部
- 一百一十 第一百肋骨ノ部
- 一百一十一 第一百一肋骨ノ部
- 一百一十二 第一百二肋骨ノ部
- 一百一十三 第一百三肋骨ノ部
- 一百一十四 第一百四肋骨ノ部
- 一百一十五 第一百五肋骨ノ部
- 一百一十六 第一百六肋骨ノ部
- 一百一十七 第一百七肋骨ノ部
- 一百一十八 第一百八肋骨ノ部
- 一百一十九 第一百九肋骨ノ部
- 一百二十 第一百十肋骨ノ部
- 一百二十一 第一百十一肋骨ノ部
- 一百二十二 第一百十二肋骨ノ部
- 一百二十三 第一百十三肋骨ノ部
- 一百二十四 第一百十四肋骨ノ部
- 一百二十五 第一百五肋骨ノ部
- 一百二十六 第一百六肋骨ノ部
- 一百二十七 第一百七肋骨ノ部
- 一百二十八 第一百八肋骨ノ部
- 一百二十九 第一百九肋骨ノ部
- 一百三十 第一百十肋骨ノ部
- 一百三十一 第一百十一肋骨ノ部
- 一百三十二 第一百十二肋骨ノ部
- 一百三十三 第一百十三肋骨ノ部
- 一百三十四 第一百十四肋骨ノ部
- 一百三十五 第一百五肋骨ノ部
- 一百三十六 第一百六肋骨ノ部
- 一百三十七 第一百七肋骨ノ部
- 一百三十八 第一百八肋骨ノ部
- 一百三十九 第一百九肋骨ノ部
- 一百四十 第一百十肋骨ノ部
- 一百四十一 第一百十一肋骨ノ部
- 一百四十二 第一百十二肋骨ノ部
- 一百四十三 第一百十三肋骨ノ部
- 一百四十四 第一百十四肋骨ノ部
- 一百四十五 第一百五肋骨ノ部
- 一百四十六 第一百六肋骨ノ部
- 一百四十七 第一百七肋骨ノ部
- 一百四十八 第一百八肋骨ノ部
- 一百四十九 第一百九肋骨ノ部
- 一百五十 第一百十肋骨ノ部
- 一百五十一 第一百十一肋骨ノ部
- 一百五十二 第一百十二肋骨ノ部
- 一百五十三 第一百十三肋骨ノ部
- 一百五十四 第一百十四肋骨ノ部
- 一百五十五 第一百五肋骨ノ部
- 一百五十六 第一百六肋骨ノ部
- 一百五十七 第一百七肋骨ノ部
- 一百五十八 第一百八肋骨ノ部
- 一百五十九 第一百九肋骨ノ部
- 一百六十 第一百十肋骨ノ部
- 一百六十一 第一百十一肋骨ノ部
- 一百六十二 第一百十二肋骨ノ部
- 一百六十三 第一百十三肋骨ノ部
- 一百六十四 第一百十四肋骨ノ部
- 一百六十五 第一百五肋骨ノ部
- 一百六十六 第一百六肋骨ノ部
- 一百六十七 第一百七肋骨ノ部
- 一百六十八 第一百八肋骨ノ部
- 一百六十九 第一百九肋骨ノ部
- 一百七十 第一百十肋骨ノ部
- 一百七十一 第一百十一肋骨ノ部
- 一百七十二 第一百十二肋骨ノ部
- 一百七十三 第一百十三肋骨ノ部
- 一百七十四 第一百十四肋骨ノ部
- 一百七十五 第一百五肋骨ノ部
- 一百七十六 第一百六肋骨ノ部
- 一百七十七 第一百七肋骨ノ部
- 一百七十八 第一百八肋骨ノ部
- 一百七十九 第一百九肋骨ノ部
- 一百八十 第一百十肋骨ノ部
- 一百八十一 第一百十一肋骨ノ部
- 一百八十二 第一百十二肋骨ノ部
- 一百八十三 第一百十三肋骨ノ部
- 一百八十四 第一百十四肋骨ノ部
- 一百八十五 第一百五肋骨ノ部
- 一百八十六 第一百六肋骨ノ部
- 一百八十七 第一百七肋骨ノ部
- 一百八十八 第一百八肋骨ノ部
- 一百八十九 第一百九肋骨ノ部
- 一百九十 第一百十肋骨ノ部
- 一百九十一 第一百十一肋骨ノ部
- 一百九十二 第一百十二肋骨ノ部
- 一百九十三 第一百十三肋骨ノ部
- 一百九十四 第一百十四肋骨ノ部
- 一百九十五 第一百五肋骨ノ部
- 一百九十六 第一百六肋骨ノ部
- 一百九十七 第一百七肋骨ノ部
- 一百九十八 第一百八肋骨ノ部
- 一百九十九 第一百九肋骨ノ部
- 二百 第一百十肋骨ノ部

備考

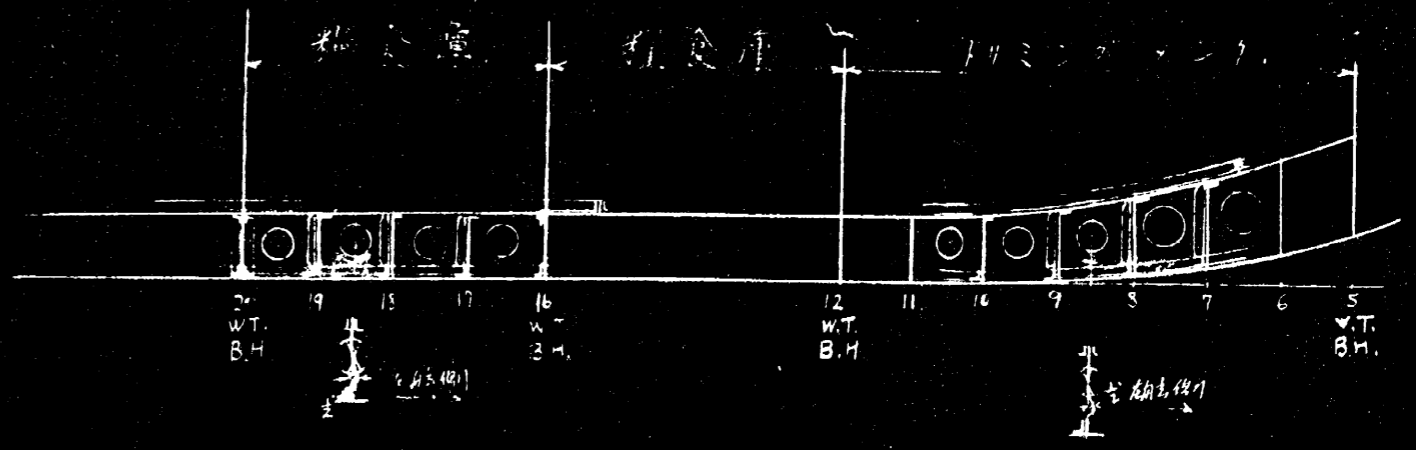
一 固形通り肋材及肋骨一切整へて置かれり
 二 外板損傷、別番



尺度 四分、一時、一呎

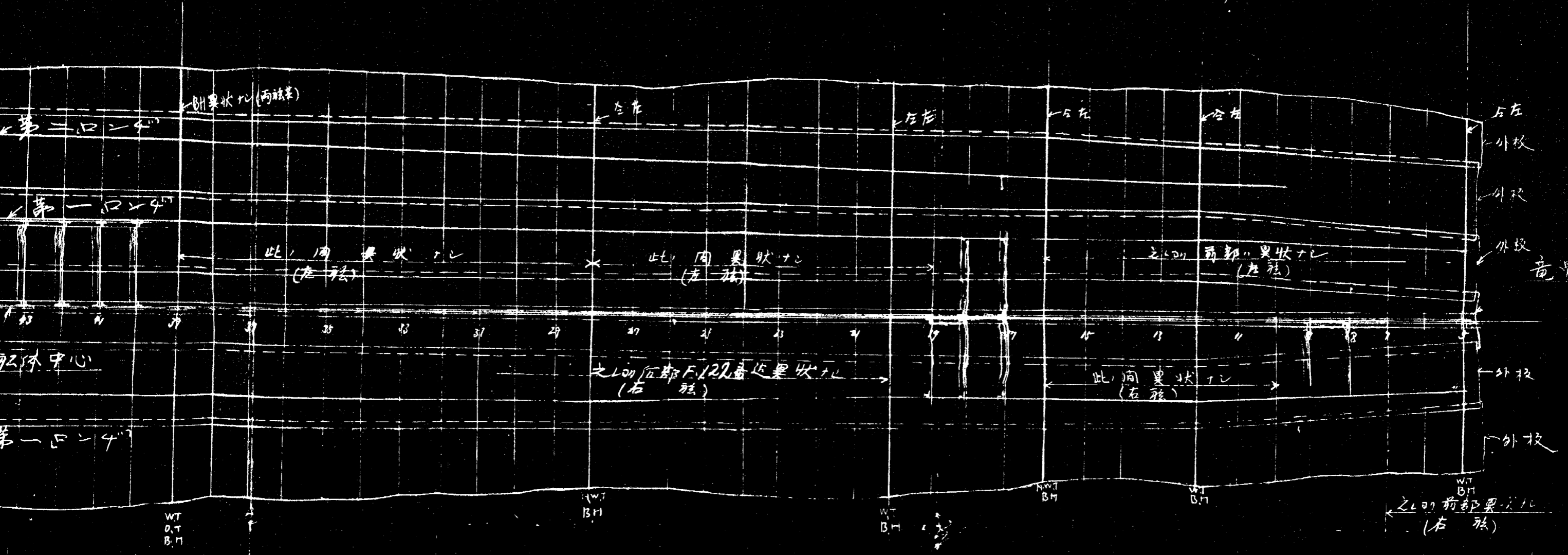
工	区 分	
事	監督工務	
	新造主任	
	修繕主任	
造船部製圖工場	設計主任	
	工務主任	
	主任	
	技師	
	製圖主任	

ハーフカーキール
(台船コクル)



二外板損傷、別備ヨルビシ

油庫 防水 糧食庫 糧食庫 トリングタンク



F43番切面 (後面)

F18番切面 (前面)

F8番切面 (右)

第一口ノ4

(左舷)

第二正室

第一

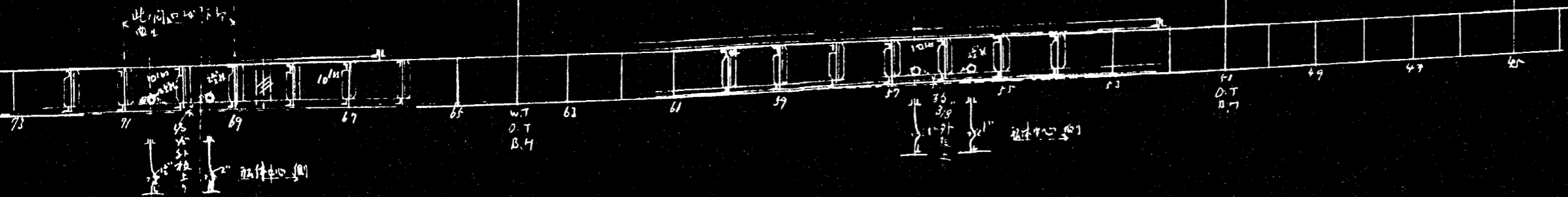
正室

重油庫

重油庫

重油庫

此間心ノ下



正室

第一

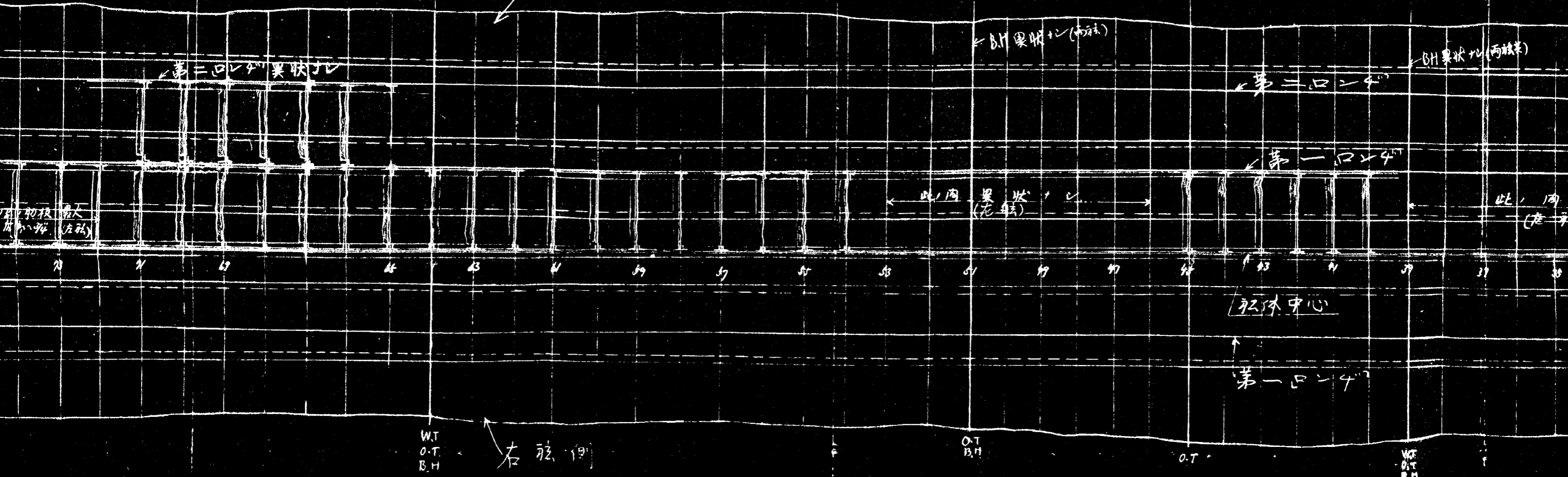
正室

重油庫

重油庫

重油庫

左舷側



第二口ノ4

果状ノ

B.H果状ノ (右舷)

第二口ノ4

B.H果状ノ (右舷)

第一口ノ4

此間果状ノ (左舷)

此間 (左舷)

船体中心

第一口ノ4

WT
O.T
B.H

右舷側

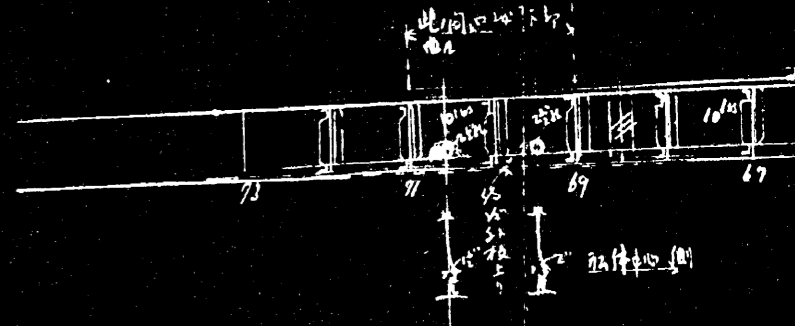
O.T
B.H

O.T

WT
O.T
B.H

第一

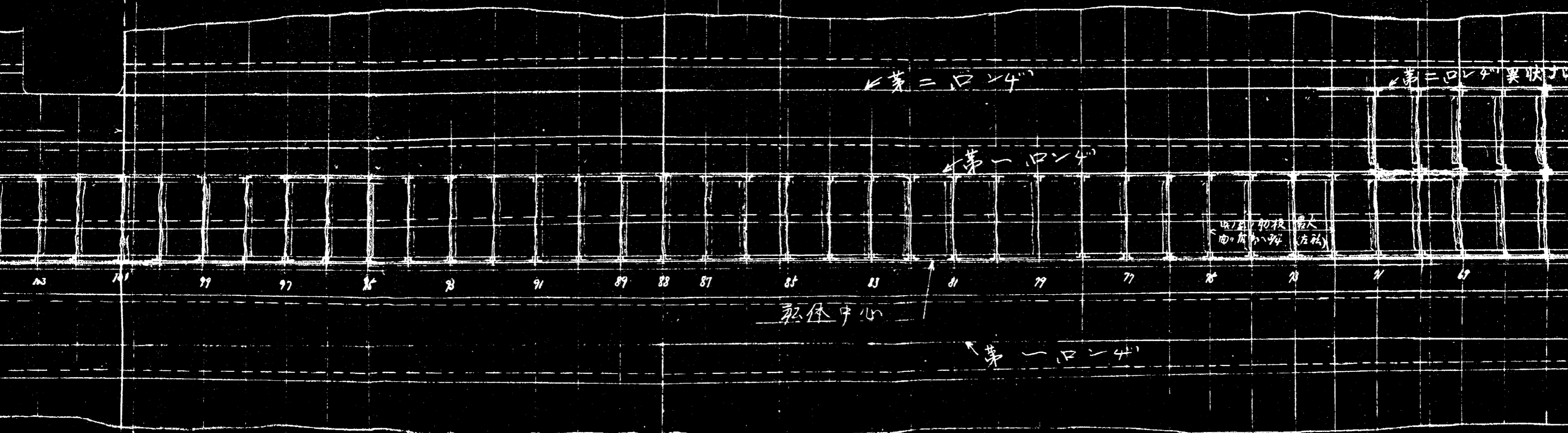
第二主室



船底平面
(内部可見)

第三主室

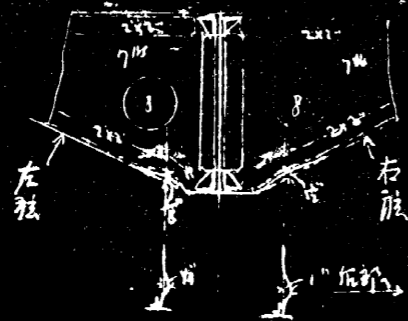
第二主室



O.T
WT
B.M

WT
B.M

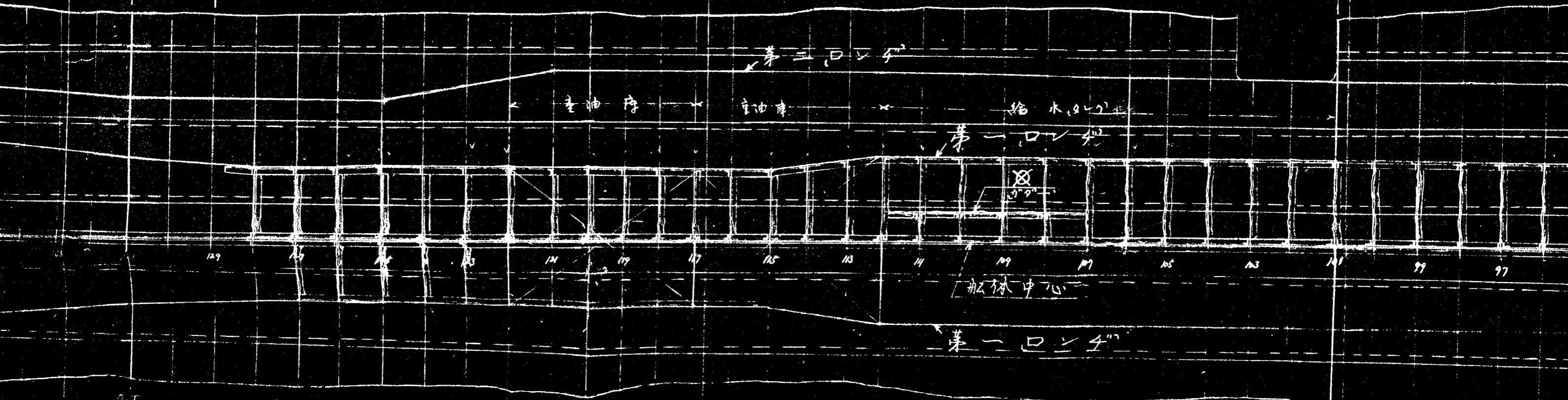
F.123 番切進断面



機 械 室

第 三

之10"前部 異状+L
(両舷共)



129

127

125

123

121

119

117

115

113

111

109

107

105

103

101

99

97

船体中心

第一ロング

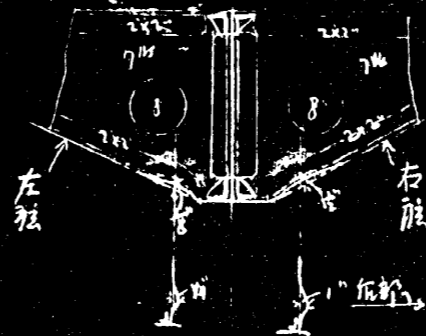
之10"前部 F.20番 BM迄 異状+L
(右舷)

O.T
W.T
B.H

O.T
W.T
B.H

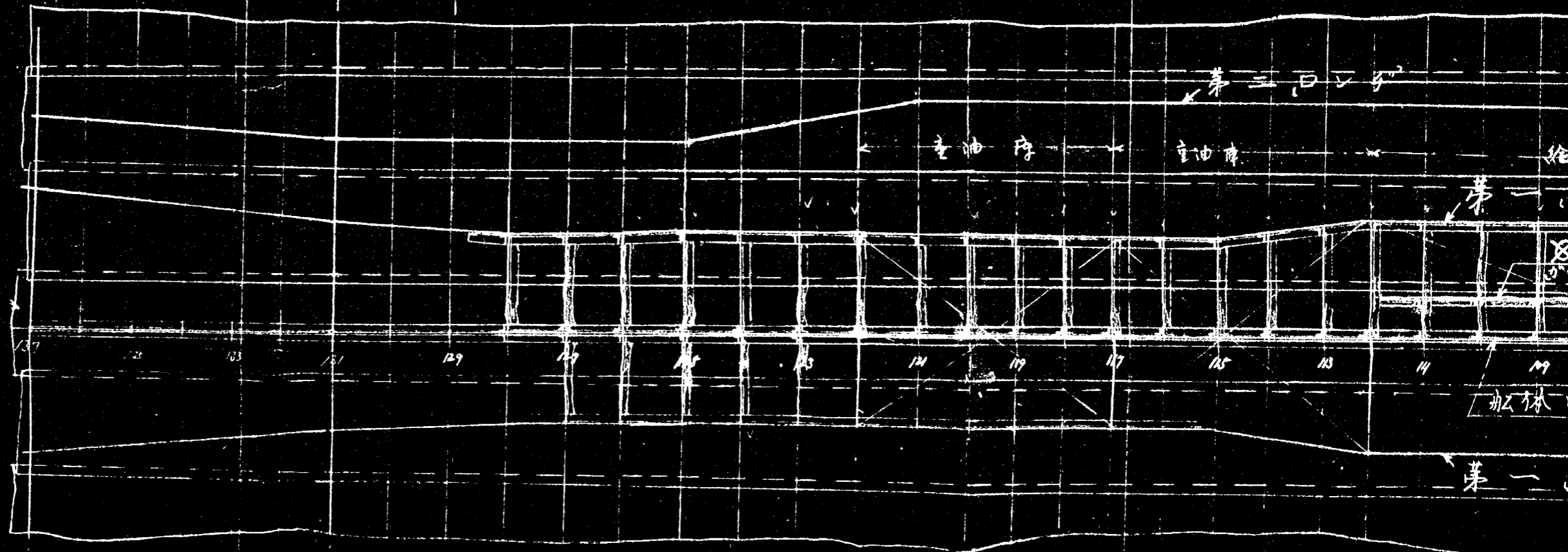
F.127 番切進断面
F.126 之11"塔台状異状+L

F.123 番切断后面



機 械 室

之Lの所部異状ナシ
(両舷共)



竜骨板

船体中心

(船尾)

O.T
W.T
B.H

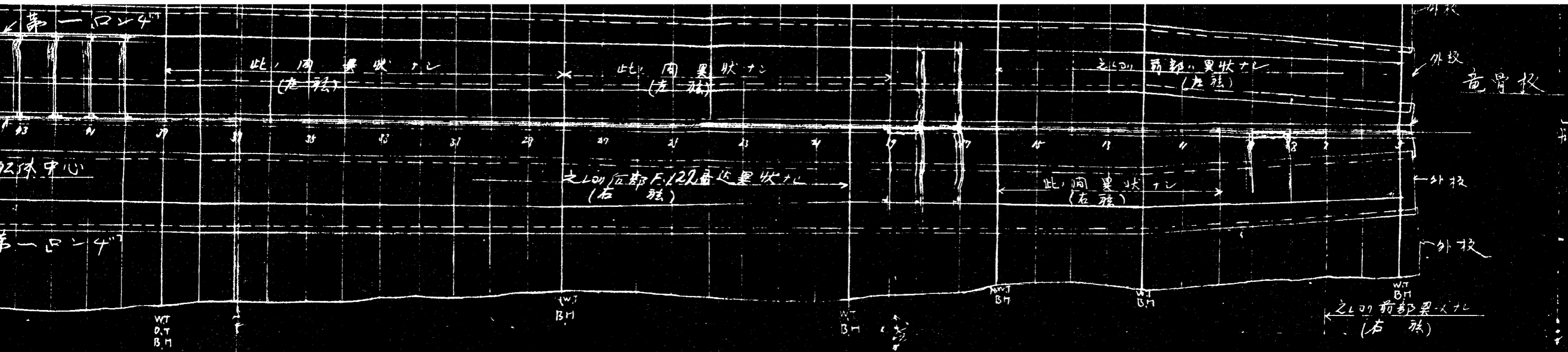
O.T
W.T
B.H

F.128 切断后面

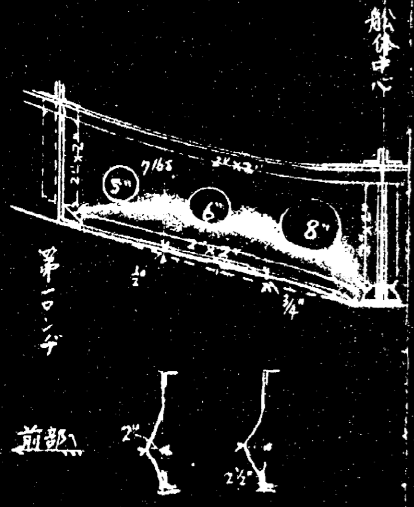
F.127 番切断后面

F.126 之Lの所部異状ナシ

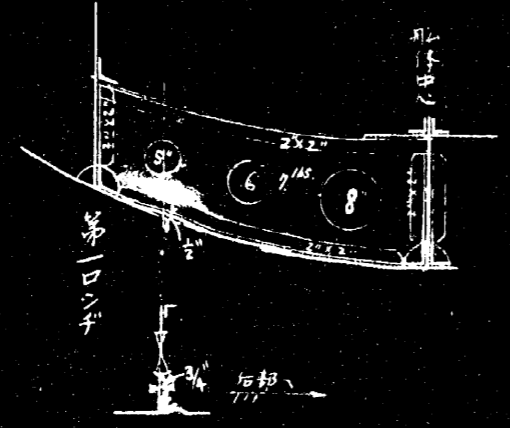
之Lの所部異状ナシ
(右舷)



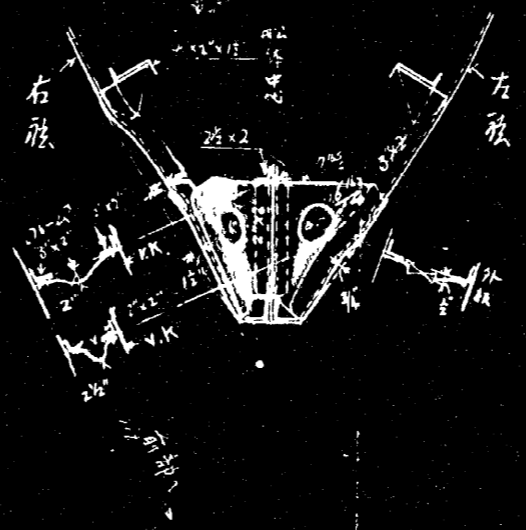
F.54番切断、后面
F.55、56番ニ之ニハ限
テ概状トス



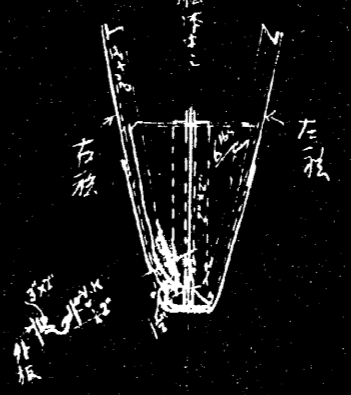
F.43番切断、后面
F.40番 - F.45番 B.H.迄
略々概状トス



F.18番切断 (前面)
F.17番及 F.19番ニ之ニ
略々概状トス

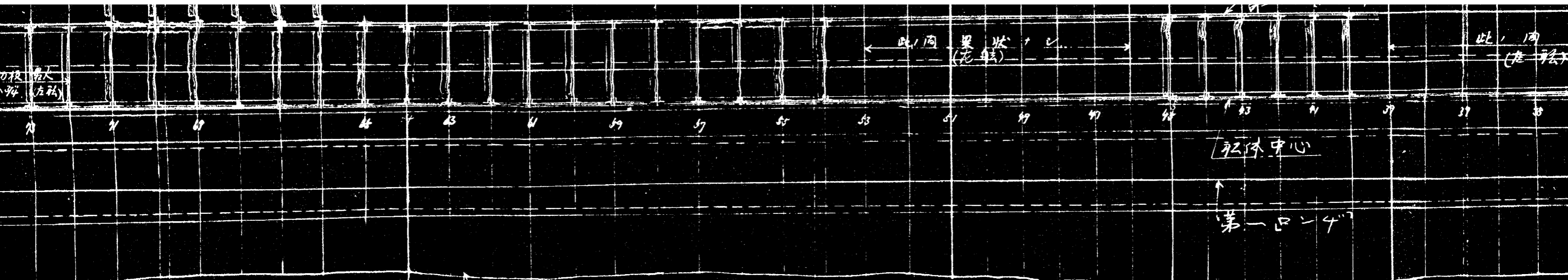


F.8番切断 (前面)
F.9番ニ之ニ略々概状
トス



2821

1786



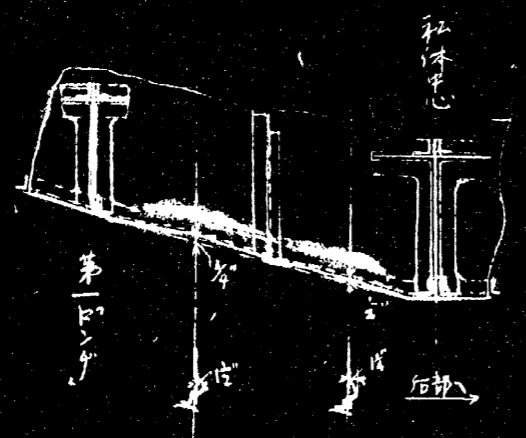
切斷 (右面)



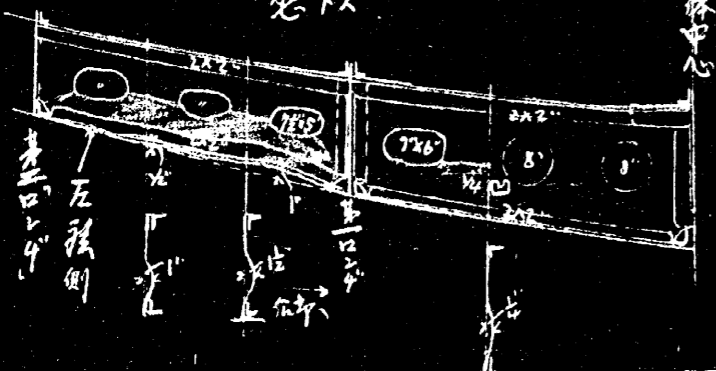
80番切斷右面
~ F.84番迄之略
状態以

WT
O.T
B.H
右舷側

F.64 水防油防隔壁

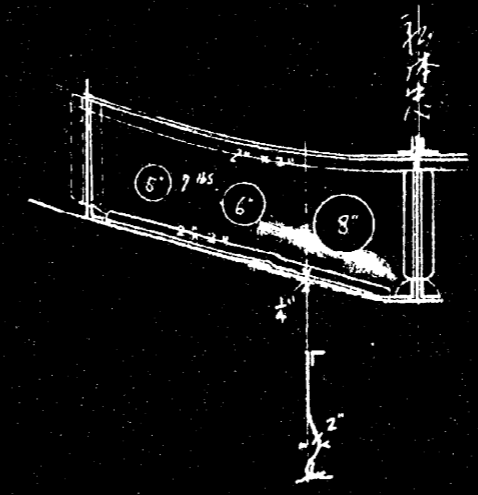


F.67 切斷右面
F.65.66.68 之略
状態以

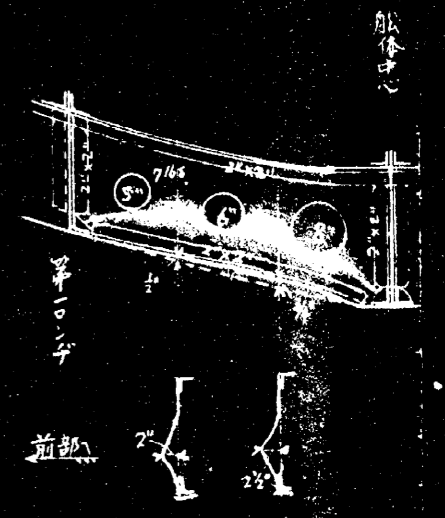


F.62 番切斷 (右面)

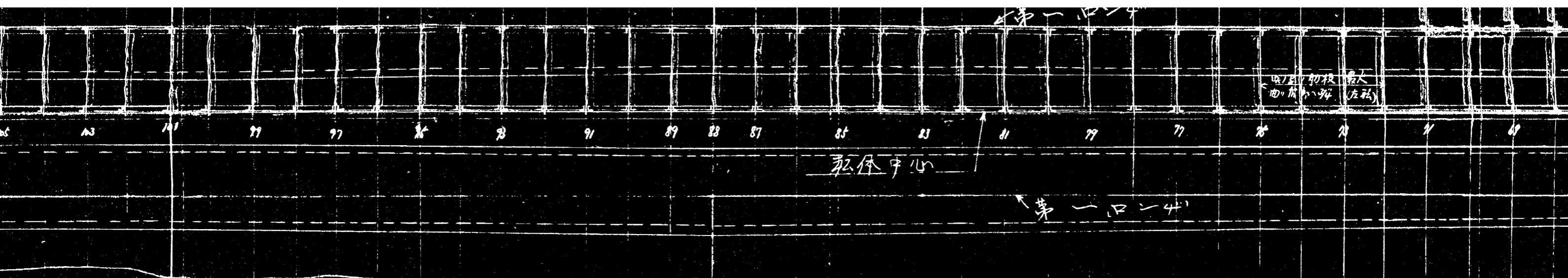
F.57番-F.63番及F.65番之略
全様状态以

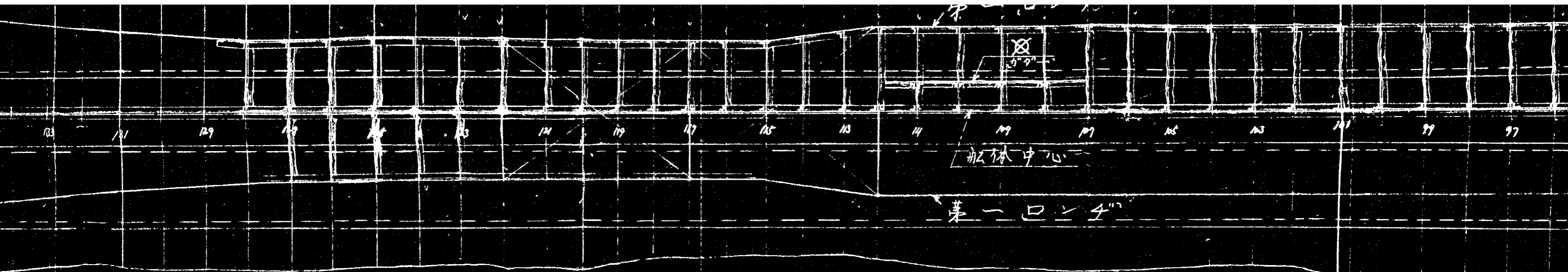


F.54 番切斷 右面
F.55.56番之略
全様状态以



1781





船体中心

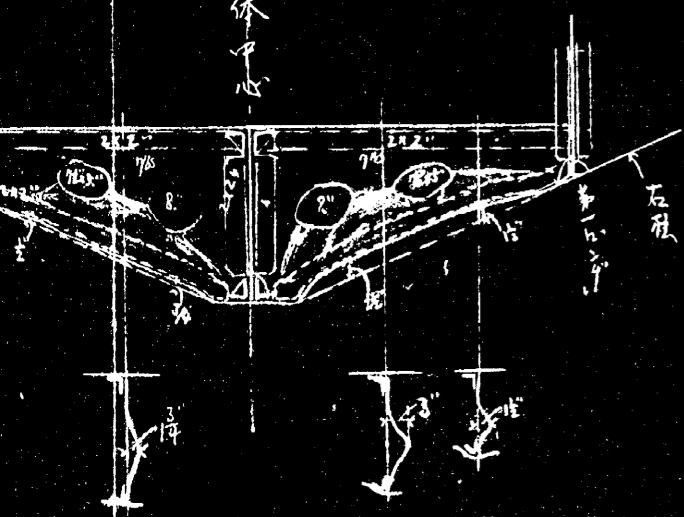
第一口ノ子

O.T
W.T
B.H

O.T
W.T
B.H

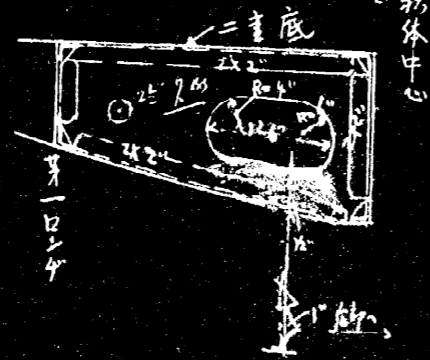
之107前部 F.20番 B.H造 異状+2
(右舷)

F.127番 切断断面
F.126之11略合様状態+2
船体中心

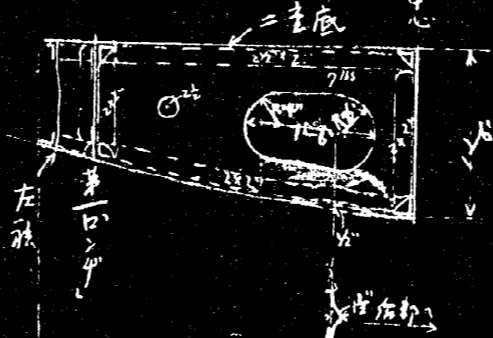


印「口ノ子」(船体中心側00見儿)
(概概空下)

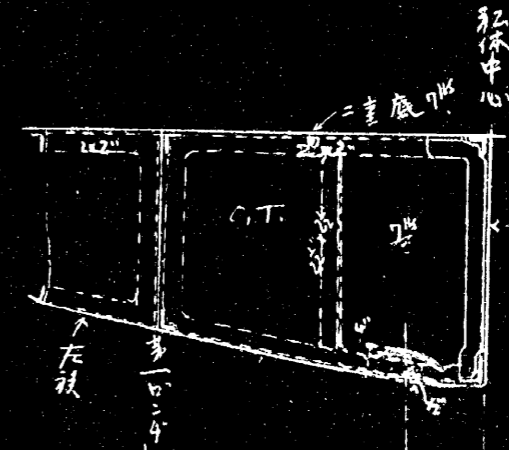
F.118番 切断断面
F.119.120.121之11略合様状態+2



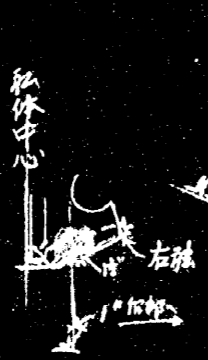
F.115番 切断断面
F.113.114.116之11略合様状態+2



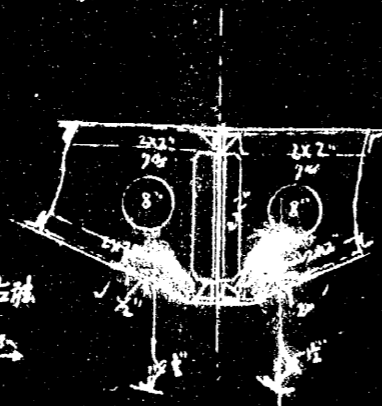
F.112番 切断断面



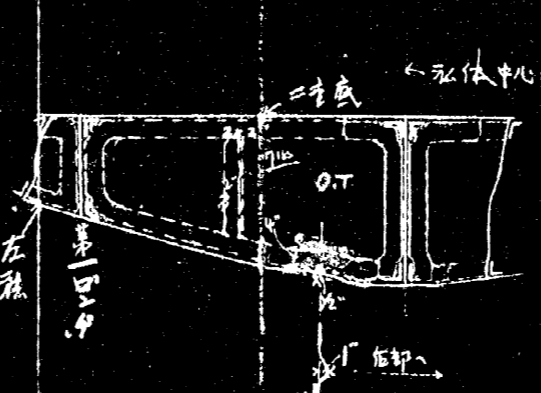
F.124番 切断断面 (右面)



F.125番 切断断面

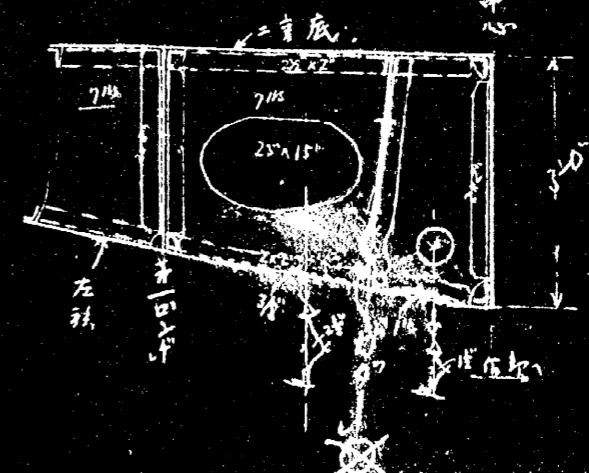


F.117番 切断断面
F.122之11略合様状態+2

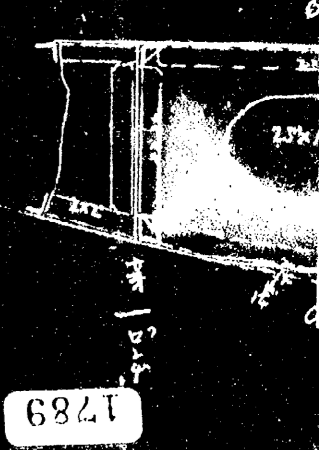


F.108番 切断断面

F.109番 F.111番 近之11略合様状態+2



F.105番 切断断面
F.106.107之11略合様状態+2
F.102.103.104之11略合様状態+2
概概空下



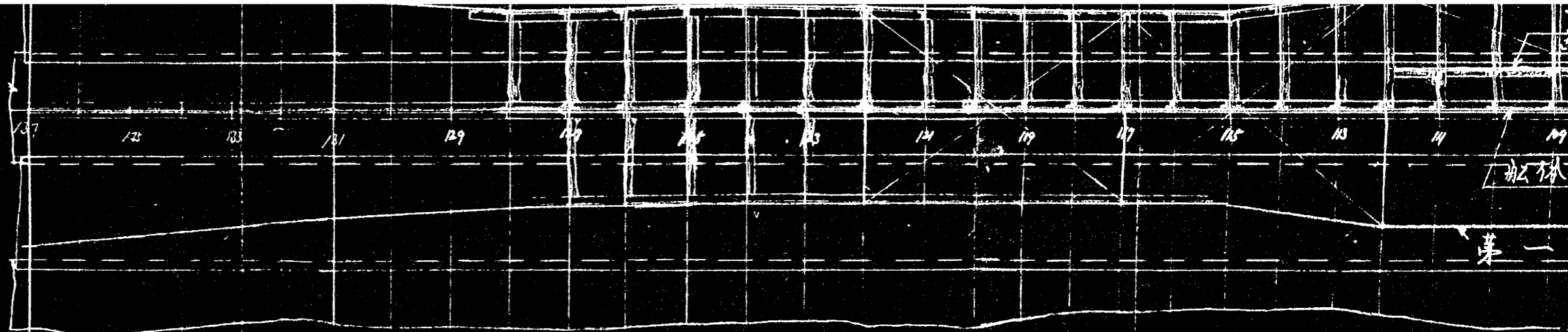
1790

1789

竜骨板

(船尾)

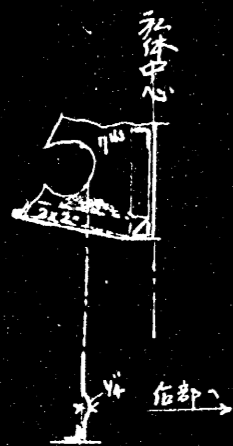
船体中心



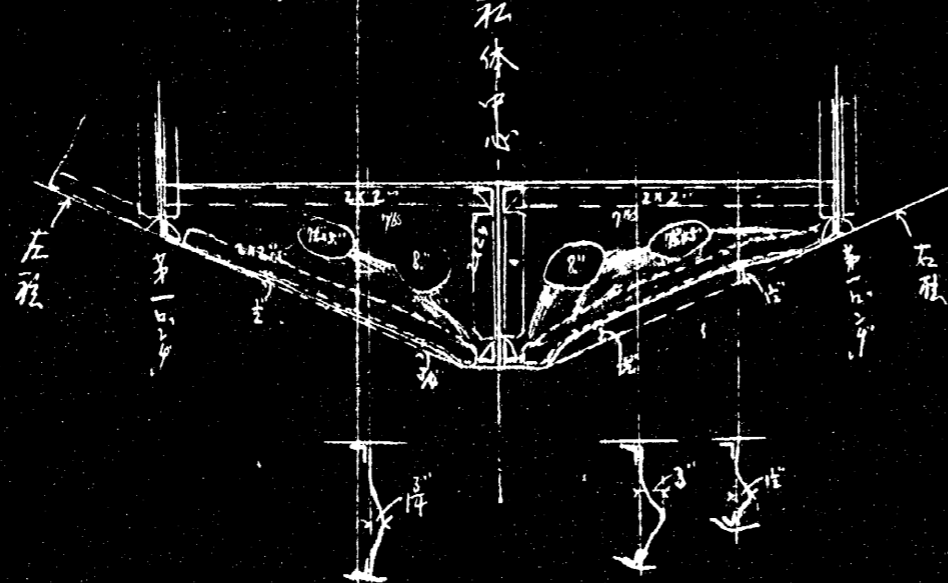
O.T
W.T
B.H

O.T
W.T
B.H

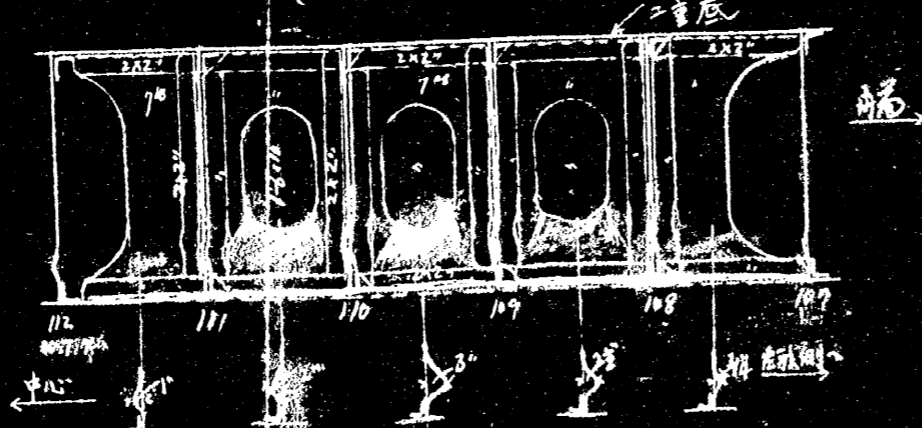
F.128 切断后面



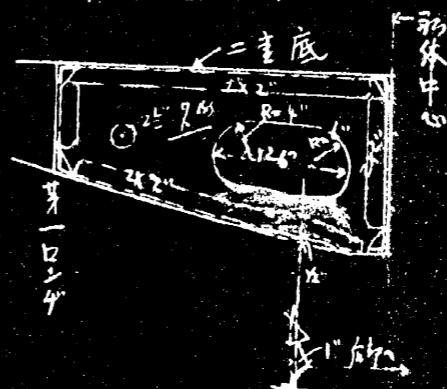
F.127番切断后面
F.126之1略合様状態以下



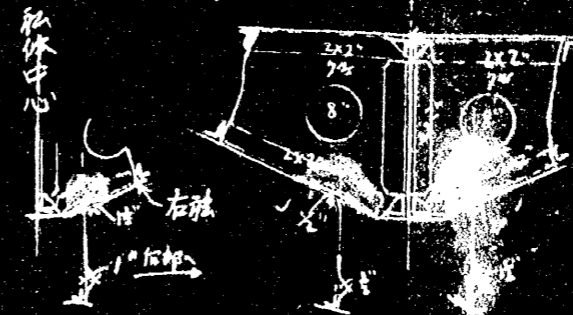
印のタ (船体中心側見儿)
(概観以下)



F.118番切断后面
F.119.120.121之1略合様状態以下

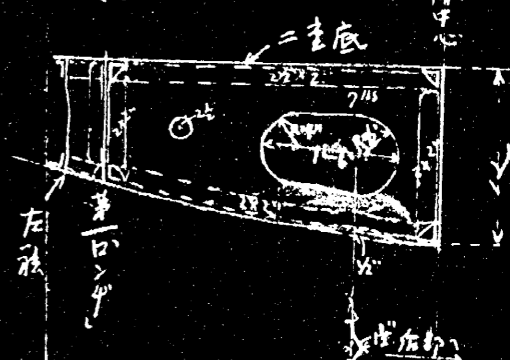


F.124切断
(后面)

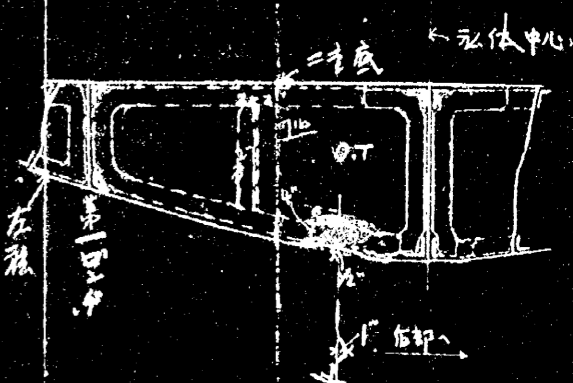


F.125 切断后面

F.115番切断后面
F.113.114.116之1略合様状態以下



F.117番切断后面
F.122之1略合様状態以下



1291

1790

